

# 榛原中学校だより

6月号

令和5年6月13日(火)

(<http://www.haibara-jh.ed.city.uda.nara.jp/index.html>)

学校目標  
『一人一人が活躍でき誇れる榛原中』  
～目標を持ち主体的に生きる生徒の育成～

(文責：校長 垣内 宏志)

## 草にも木にもいいことをしよう 人にも自分にもいいことをしよう

私が中学生だった頃から、榛原中学校の校門をくぐった右手の植え込みには、この合言葉が刻まれた石碑が建っています。みなさんも、この合言葉は何度も見たり聞いたりしてきたことと思います。みなさんは、この言葉にはどのような思いが込められているか、考えたことがありますか。恥ずかしながら、私は校長として母校に赴任するまで、この言葉の意味を深く考えたことがありませんでした。

そこで、今回は生徒のみなさんと一緒に、この合言葉の意味を改めて考えてみたいと思いました。

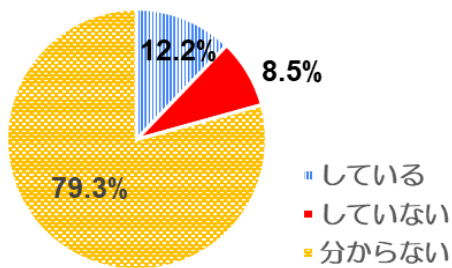
全校生徒のみなさんと一緒に話し合う機会が持てるとうれしいのですが、授業や部活動の合間に、そのような時間を確保するのは難しいので、6月1日から9日までの期間に、タブレットを使ってオンラインで質問してみました。

その結果、82名の生徒から回答がありました。勉強のすき間時間を使って回答してくれた生徒のみなさん、本当にありがとうございました。

以下にその結果をお知らせします。

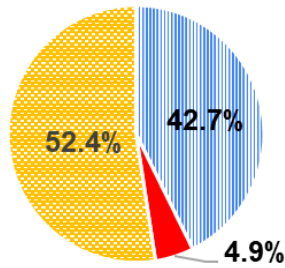
【グラフ1】

皆さんは「草にも木にもいいことをしていますか？」



【グラフ2】

皆さんは「人にも自分にもいいことをしていますか？」



最初に、「草にも木にもいいことをしていますか？」という問いに対して、約8割の生徒が「分からない」と答えました。この中には、「草にも木にもいいことをする」とは、一体どのようなことを意味するのか分からなかった生徒もいるかもしれません。「している」と答えた生徒からは、「水やり」や「おやみに花を踏んだり、枝を折ったりしない」といった内容の回答が多く見られました。また、中には、「自然を大切にしている」という回答もありました。

榛原中学校は、大和富士を臨む自然豊かな土地に立地する学校です。学校の敷地には、様々な木々や植物が生い茂り、たくさんの野鳥もやってきます。この合言葉をつくった

先人は、宇陀の豊かな自然環境に目を向け、それらを大切にする人になってほしいという思いを込めたのではないのでしょうか。

次に、「人にも自分にもいいことをしていますか？」という問いに対して、「分からない」と答えた生徒は約5割で、約4割の生徒は「している」と答えました。その内容の一部を紹介すると、「人に優しく、困った人がいれば助けている」、「あいさつをしっかりとしている」、「言葉遣いに気を付けている」、「相手の気持ちを考えて行動している」などがありました。中には、「自分にはいいことをしていると思う」や「人に優しく自分に厳しくしているつもりですが、たまに自分を甘やかしたりもします」といった謙虚な回答もありました。

以上の回答も参考に、みなさん一人一人が、自分なりの「草にも木にもいいこと」や「人にも自分にもいいこと」を実践してくれるとうれしいです。

## あいさつは心と心を結びます

私は、朝の時間に余裕があれば、先生方と一緒に校門で朝のあいさつをしています。多くの榛原中学校の生徒が、気持ちの良いあいさつを返してくれますが、会釈だけして通り過ぎる生徒、登校坂の下から大きな声であいさつする生徒など同じあいさつでも個性があって、とても面白いです。

名前が分からなくても、あいさつを交わすだけで、自分のことを認めてもらったようなうれしい気分になるのは私だけではないと思います。私が特にうれしく感じるのは、笑顔でこちらの目を見てしてくれるあいさつです。私は「自分がしてもらってうれしいことを、自分から先にすること」、「人にも自分にもいいことをする」ことの一つの形だと思っています。だから、できるだけ、みなさんに負けないような気持ちの良いあいさつを心がけたいと思います。

みなさんも、自分がしてもらってうれしいことは、自分から進んで行い、思いやりにあふれた榛原中学校をつくってほしいと思います。



### <学校からの「情報発信・お知らせ」について>

本年度も、学校のホームページ（以下、榛中Web）やメール配信システム（宇陀市教育メール）により、学校からの連絡や情報発信を行います。メール配信に未登録のご家庭はこの機会にぜひご登録願います。